

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			安心して活動できるように安全面での配慮を心がけながら、子どもたちの活動のスペースを確保できるようにしています。
	2 職員配置数は適切であるか	○			児童10人に対し指導員2人という国の人員配置基準以上の人員配置を常に行い、保育士・臨床発達心理士の専門性の備わったスタッフを配置しています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境※1になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○		建物の構造上、完全バリアフリー化ではないため、必要に応じて職員が配慮しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			積極的にミーティングを実施し職員間の意識付けを行なっています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			第三者の意見を取り入れ、業務改善に繋げるよう検討します。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		外部の研修に参加したり、アドバイザーを迎え、定期的にアドバイスを受けています。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			保護者のニーズや、個々のアセスメントシートに基づき、支援計画を作成しています。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			発達検査の結果を参考に支援しています。
	11 子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			計画書作成担当を中心に活動を決め、職員で共有しています。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			季節に応じたプログラムや、子供の状況に合わせたプログラム、また個別・集団のプログラムも立案しています。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			日頃より課題を設定し、支援をしています。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			子どもの状況に合わせて、個別・集団活動の課題の両方を視野に入れ計画書を作成し、職員間で共有しています。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			その日に行われる支援内容や業務の確認・報告を行っています。
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	○			適宜情報交換をしています。	

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援終了後に、その日の様子を記録しています。また、支援の検証・改善に繋げています。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			6か月に一度、保護者の方にモニタリングを行い、個別支援計画書の見直しを行っていきます。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			管理者、児童発達支援管理責任者はガイドラインの総則を読み統一しています。他職員にも一読しておくよう努めます。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			サービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者、必要に応じて支援現場で担当している職員が参加しています。
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	○			必要に応じて連携をとれる体制を整えています。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			今、ケアが必要な利用者はいないが、必要に応じて連携をとれる体制を整えています。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			適宜情報共有をしています。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○			求められた場合は保護者に確認して情報提供しています。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			定期的に研修に参加し、必要に応じて助言を受けています。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		LINE等のツールを利用し、さらなる連絡等を取り合えるよう努力します。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		保護者の方と相談を行っています。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			契約時には必ず行い、必要に応じて説明を行なっています。
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			必要に応じて相談・助言を行っています。

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			支援をしていけるように検討します。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			苦情を受け付けた場合は管理者に報告し、状況を把握し対応を検討した上、管理者から保護者に説明する。また、職員間で共有し、再発防止に努める。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			毎月の利用予定表でお知らせしています。 鍵付き書庫に保管のうえ、特定管理者のみが鍵を保有することで社外への流出を防いでいます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			
	36	子どもや保護者からの苦情について、対応の体勢を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			コロナ禍の折り、密になることは避けたいのですが、収束の折りイベントに参加していただく機会をつくっていきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			マニュアルを作成し、職員間で情報共有しています。また、保護者の方へも周知の方法を検討していきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			年2回（1月・9月）実施しています。状況に応じて訓練内容を見直し実施していきます。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			研修に参加したり、社内ミーティングで伝達講習を行っています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			「身体拘束を行わない」という方針のもとに、支援しています。職員間で万が一に備えて共通認識・理解を図っています。
非常時などの対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			アレルギーについては把握し共有しています。指示書がある場合は、それに基づいて対応していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			